



2026 年 9 月 29 日

会 社 名 カナデビア株式会社
代 表 者 名 取締役社長 グループ C E O 桑 原 道
 (コード：7004 東証プライム)
問 合 せ 先 広報・I R 部長 樋 口 久 美 子
TEL 06-6569-0005

次期中期経営計画の公表時期に関するお知らせ

カナデビア株式会社（以下「当社」といいます。）は、2026 年 2 月 5 日に公表した日鉄エンジニアリング株式会社との経営統合に向けた検討の開始を踏まえ、新たな中期経営計画の公表を見合わせておりましたが、本日公表の「(開示事項の経過) カナデビア株式会社と日鉄エンジニアリング株式会社の経営統合に向けた検討の基本覚書の合意解約について」のとおり、同社との経営統合に向けた検討を終了することとしたため、次期中期経営計画を 2027 年春頃に公表する予定といたしましたので、お知らせいたします。

1. 次期中期経営計画について

当社は、前期中期経営計画「Forward 25」において、既存事業の持続的成長、成長事業の創出・拡大および持続可能な経営の推進（企業価値の向上）を基本方針として、事業環境の変化に柔軟に対応しながら、海外事業の拡大や重点分野への積極投資、収益力改善等に取り組みました。

2026 年度は、経営統合の検討開始を踏まえ、新たな中期経営計画の公表を見合わせておりましたが、Forward 25 の基本方針を継続し、引き続き海外事業および重点分野へのリソース投入を実施するとともに、グループガバナンスの強化を図りながら、事業の成長ならびに収益力の向上に取り組んでおります。

主軸の環境事業においては、海外での廃棄物発電や RG（リニューアブルガス）事業が拡大しており、当社グループの 2026 年 6 月末現在の受注残高は約 2 兆 5 千億円と今年度の予想売上高の約 4 倍となる高水準を確保しております。こうした強固な事業基盤のもと、収益力のさらなる向上を目指しております。

今後の成長戦略については、エネルギー政策や地政学的環境を含む国内外の事業環境の変化を踏まえるとともに、今般、日鉄エンジニアリング株式会社との経営統合に向けた検討を終了することとしたことから、改めてその方向性および経営目標の検討を行い、2027 年春頃を目途に公表すべく次期中期経営計画の策定を進めることといたしました。

2. 業績への影響

本件は次期中期経営計画の公表時期に関するものであり、現時点において業績予想の修正を要するものではありません。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上